

講義名	ファイナンス演習 (M2)			授業形態	
担当教員	福田 司文	開講期・曜日・時限	通年 金曜日 5 時限		
		単位数	6	履修開始年次	2 年生

**主題と概要**

M1での特定分野の理解に基づき、ファイナンスに関する修士論文の作成に向けた指導を行う。

**到達目標**

修士論文の作成、提出を求める。

**提出課題**

受講者のテーマに沿った修士論文

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

論文のパート毎に発表を求め、内容について受講者とともに検討する。

**評価の基準**

ファイナンスの修士学位にふさわしい内容の修士論文が作成できているかどうかで評価する。テーマの専門性がどこまで掘り下げられているかは重要なポイントとなる。

**履修にあたっての注意・助言他**

自ら学習して考える必要があります。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.適宜指示する。

**その他**

**授業計画**

1 - 1 5 回まで、受講者と相談の上、講義内容を決める。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

論文作成に十分な時間をかける必要があることは言うまでもない。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

修士論文の作成を通して、ファイナンス分野において専門的な研究を行い、修士論文の論文の成果を完成させることによって、本学のDPを達成することができる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**